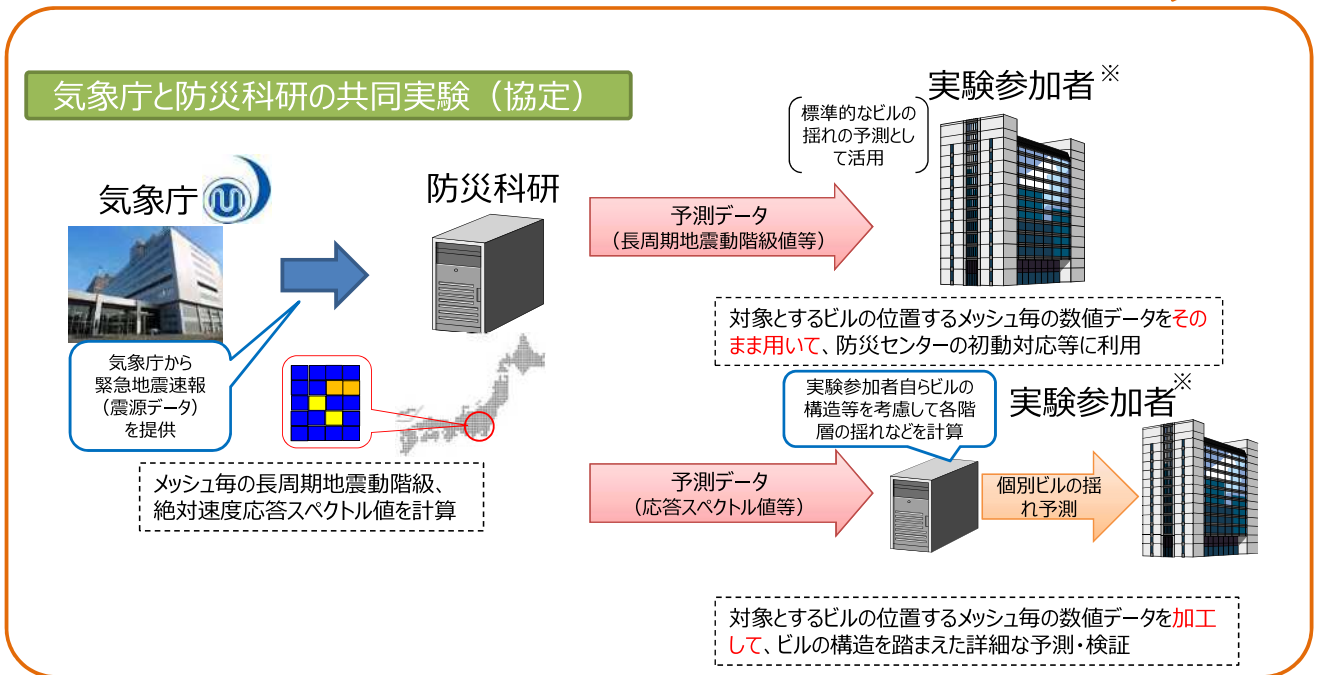


① 機械処理可能な予測結果を利用した実験

気象庁と防災科研、実験参加者の三者で覚書を交わし実証実験

※実験参加者はWGメンバ及びWGが必要と判断したものとす。

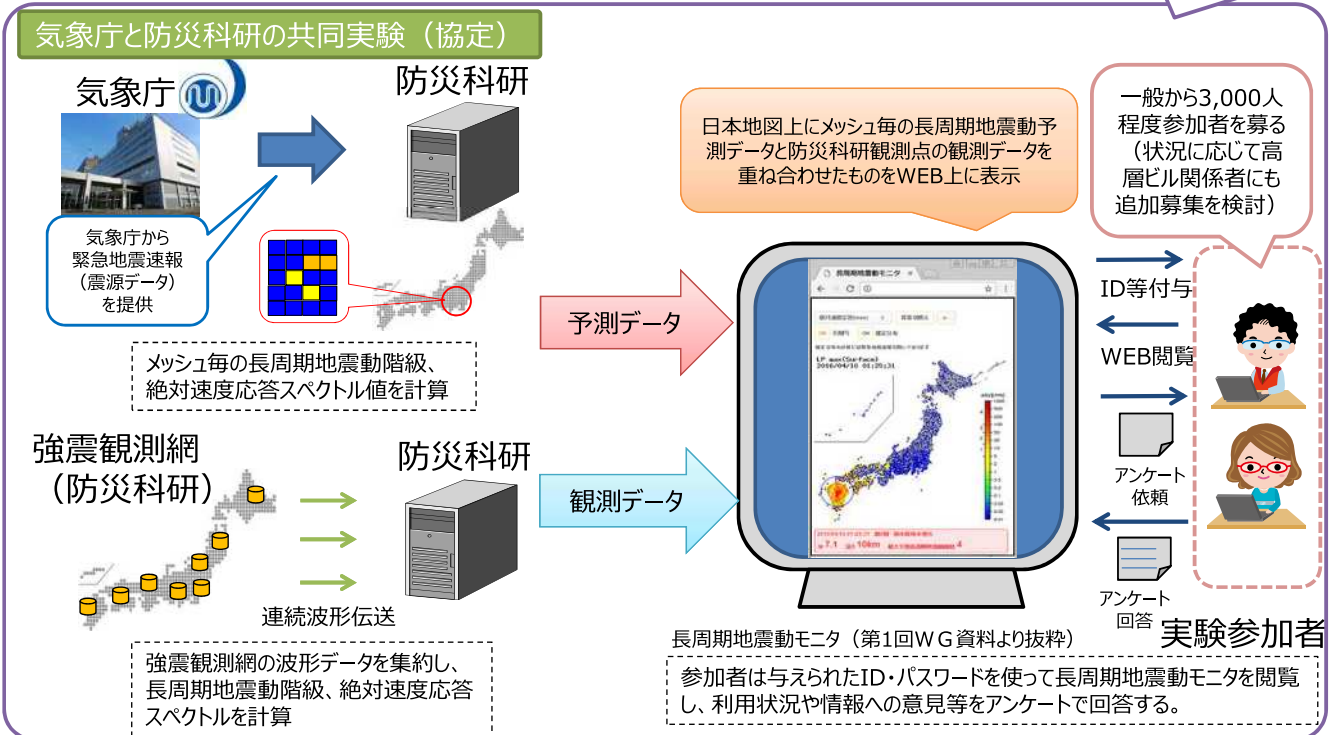


気象庁と防災科研、実験参加者の三者で覚書を取り交わしデジタルデータの利活用について検証。取り扱うデータについては、三者で調整し決定する。実験参加者はWG開催時に利活用状況結果を報告する。

長周期地震動の予測情報に関する実証実験のイメージ

② 予測結果の分布図を利用した実験

実験参加者は実証実験の同意事項に同意した上で参加



気象庁と防災科研とで協定を結び、WEB閲覧可能な一般から広く参加者を募集（ただし、高層ビルの居住者・勤務者などを一定数確保するための枠を確保）してWEB閲覧による情報提供の利活用等の検証を行う。